

お知らせ

- 新入会員紹介；千葉市美浜区、中田利明・真也子夫妻、11月3日入会、5人の生きもの大好きのお子さんたちと昨秋以来お馴染みのご一家です。宜しくお願ひします。南房総市犬掛、加藤洋（ひろし）さん、11月4日入会、1月と11月のチェーンソー研修や2月の造材作業にも参加された常連です。宜しくお願ひします。
- 1月の定例活動日；1月10日月曜日、第2駐車場9時30分集合、巨木林調査、シイタケホダ場保護など予定しています。

活動の記録

11月23日（火、休日）雨後曇

ONPOちば里山センター主催のチェーンソー安全講習会；林業サービスセンター木村講師を迎え、豊英島5回目の講習会、参加は（順不同・敬称略）高橋治雄、後藤守孝、大川洋、飛田寿一、嶋津三郎の5氏と千年の森会員；伊藤、鵜沢、加藤、福島、真鍋、村野、NPOちば里山センター向川さん。

朝の降雨時は県民の森木工室で講義とDVDによるかかり木処理法の学習、雨が上がり豊英島に移動、チェーンソー整備点検実習、昼食後は伐木実習、かかり木処理の実技に汗を流しました。大雨洪水注意報下の降雨のお陰で、DVDでかかり木処理を学習する機会に恵まれ、また会員以外で参加された5名の受講者全員、難しい広葉樹伐採とかかり木処理を体験でき有意義でした。昼食は温かいナメコ汁で満腹。

○この日大賀先生は巨木林調査、坂本文雄さんは野鳥観察、植物調査、紅葉や木の実の写真撮りなど行いました。（3頁をご覧ください）



木村講師の熱いお話に聴き入る



先ずチェーンソーの整備点検



受け口の斜め切りは正確に！



追い口切りは受け口高さの2/3に



適正幅のツルを残し



16m高伐木後の達成感！



かかり木は先ず木回して

12月4日(土) 晴 快晴 参加は伊藤、大賀、加藤、甲斐、福島、福田、松本、真鍋、村野の9名。暴風雨明け、澄みきった青い空に紅葉が映える森で、巨木林調査、マダケ林調査、ナメコとシイタケの収穫と味見、シイタケホダ場の保護作業など行い、スタジイ林急斜面を降り、紅葉狩りを楽しみました。



○巨木林調査；コナラの葉がほとんど落ち青空にイロハモミジの紅葉が映える中で、加藤さん、真鍋さんとともに巨木林の成長調査を行いました。調査したのは、高木層から低木層の70本の胸高周囲長です。今回は、ナンバリングしたテープの番号が読めないものの番号を幹に記入し、測定位置についても同じ位置で測れるようにマーキングしました。(福島記)

大賀先生は村野さんと3シーズン目の下層木調査を開始しました。調査は3月まで続きます。

○マダケ林調査；すっかり遅くなったが、2010年発生のマダケ調査を実施した。竹は発生後太くなることが無いのでつつい後回しになってしまう。マダケ保護柵内の発生本数は20本で平均胸高周囲長は13.8㍎、直径にすると4.4㍎だった。2006年から、保護柵内はすべての発生竹に年度別に色テープし、番号ふって継続的に観察している。そろそろ地上部が枯れるものが出てくるかもしれない。マダケの地上部の寿命は10年程度といわれているので、それを確かめたいと思っている。(伊藤記)

○きのこ収穫；甲斐さん、福田さんとナメコとシイタケを収穫しました。ナメコ約1㍎、シイタケ約1㍎、ネットのない09年植菌シイタケは猿に食べられていました。昼きのこ汁にいただき、残りはお土産に持ち帰りました。(松本記)

○シイタケホダ場保護；09年植菌シイタケホダ木1列をネットで保護、残る2列と今年植菌の2列はネットを追加購入し、次回保護する予定です。(真鍋記)



○紅葉狩り；昼食後、コナラ更新林や湖面に近いスタジイ林斜面を歩き、紅葉を観察しました。湖面に映る紅葉、透き通る紺碧の空に写る美しい紅葉に感嘆の声を上げながら、斜面をよじ登りました。また作業終了後は、皆で落葉の上に寝転び、木々の梢の向うに見える青い空を眺め、その美しさに感動しました。(真鍋記)

落ち葉のベッドに寝転んで見る空は

福田美代子会員

紅葉の豊英島は楽しかった。キノコ汁も美味しかった。落ち葉のベッドに寝たんだ！カサカサ、サクサクと音がして、ほんのり落ち葉の匂いもしてとっても気持ちよかったよ！見上げると木々の先が天まで届きそうで、その間から柔らかな光がこぼれ、その先に真っ青な空が広がって、トンビが二、三羽舞っているのが小さく見えたっけ！落ち葉のベッド、素敵だったよ。チーちゃん、ゆうなちゃん、今度みんなと一緒に寝てみようね！



快晴の豊英島で一日のんびり！

加藤 洋会員

昨日までの天候が嘘のように、今日は雲一点ない快晴の中、のんびり出来ました。未だ豊英島の全体像は掴めていませんが、これから出来るだけ多くの会に出席して、会の活動について理解して行きたいと思います。活動の場も、豊英島に限定しないで是非広げてほしいと思っています。今日は色々とお世話になりました。本当にありがとうございました。

坂本文雄さんは11月23日と12月6日、野鳥観察と紅葉や植物の撮影を行いました。

落葉樹はそれぞれ個性的に色付いていました。雨上がり後はしっとりとして特にきれいです。その一部を紹介します。



ウリカエデ



ヤマボウシ



コナラ



ネジキ



ヤマウルシ



コバノガマズミ



ヒイラギ



コウヤボウキ

○野鳥観察 11月23日

野鳥記録は下記9種です。冬の渡り鳥が勢揃いする頃なのでもっと多くの種類を期待していたのですが、冬鳥はシロハラだけでした。島内にはコナラなどの高木は多いものの、小鳥の餌になる木の実の種類が少ないせいだと思います。

カワウ (3) トビ (3、声) コゲラ (1) ヒヨドリ (声) シロハラ (1) エナガ (声) ヤマガラ (声)
メジロ (声) ハシブトガラス (声)

○野鳥観察 12月6日

落葉が進んで林内の見通しが良くなったので鳥の姿が見やすくなってきました。10羽以上のエナガの群れが枝先で餌を探しながら移動して行きました。メジロやシジュウカラ等も混じっていました。

ルリビタキらしき声も聞こえましたが、他種との区別が明瞭ではないので？付きで報告します。

カワウ (3) トビ (3、声) カワセミ (声) コゲラ (声) セグロセキレイ (声) ヒヨドリ (声)
ルリビタキ? (声) エナガ (10) ヤマガラ (声) シジュウカラ (声) メジロ (1、声) カケス (声)
ハシボソガラス (声) ハシブトガラス (2、声)



(10月17日午前1時52分)

アライグマ

島入口のセンサーカメラに
アライグマがまた現れました



晩秋の豊英島 11月23日 坂本(文)